

輝く未来をつくろう!

10月～2月(40時間)

1 城南小キャリア発達を見越した目標

3力	領域	能力	キャリア発達を見越した期待される具体的な能力		
			低学年	中学年	高学年
見つける力	将来設計能力	計画実行力 (学習能力)	①教師といっしょに「はてな」(疑問)をもつことができる。 ②作業の準備や片付けをすることができる。 ③自分がやりたいことや取り組みたいことを考えることができる。	①教師といっしょに学習課題をつくり、問題意識をもつことができる。 ②計画作りの必要性に気づき、学習計画を立てることができる。 ③将来の夢や希望をもつことができる。	①進んで問題や調べたいことを見つけ、自分の追究していきたい課題をもつことができる。 ②学習に見通しをもち、計画的に学習を進めていくことができる。 ③自分の将来や生き方について考えることができる。
		役割認識力 (社会形成力)	④家の手伝いや係・当番活動に取り組み、役割の必要性や、それらの大切さが分かる。	④与えられた役割をきちんと果たし、互いの役割や役割分担の必要性及び働くことの楽しさが分かる。	④進んで役割を受け持ち、責任をもってその役割を果たす中で、社会生活ではいろいろな役割があることを理解し、働くことの意義について考えることができる。
かかわる力	情報活用能力・人間関係形成能力	調査・表現力 (学習能力)	⑤知りたいことや不思議に思ったことを先生や身近な人たちに聞いて調べることができる。 ⑥調べたことや分かったことを書き表せる。	⑤いろいろな調べる方法を知り、その中から選び、必要な情報を得ることができる。 ⑥追究して明らかになったことを、相手に分かりやすく表現することができる。	⑤様々な角度から多様な情報を収集するとともに、その中から必要なものを選択することができる。 ⑥追究して明らかになったことを、相手に納得してもらえよう方法で表現したり、発信したりすることができる。
		対話力・協働能力 (社会形成力)	⑦友達や他者といっしょに、話の内容に興味関心をもって楽しく話し合えることができる。 ⑧いっしょに楽しく活動できる。	⑦互いに尋ねたり、聞いたりを体験や経験を共有し合い、相手の考えを理解しながら話し合えることができる。 ⑧相手を受け入れて、協力して活動できる。	⑦多様な考えの存在、異なる意見を認め合いながら、相互の立場を理解して新たな考えを導き出し、互いに納得できるように話し合うことができる。 ⑧互いの役割や責任を意識して、協力し合って活動できる。
進める力	意思決定能力	課題解決力 (学習能力)	⑨自分のことは自分で行うことができる。	⑨目標達成や課題解決に向けて、自分の力で解決しようと努力する。	⑨自己の目標や課題の解決に向けて、ねばり強く工夫しながら取り組むことができる。
		社会参加力 (社会形成力)	⑩家族や学級、他学年の児童や地域の人と意欲的にかかわりながら、いっしょに活動することができる。	⑩学校生活や身近な社会の問題を見つめ、人のために頑張ることや人のために働くことの意義を理解し、進んで友達や地域の人といっしょに取り組むことができる。	⑩より望ましい学校生活や地域社会となるように、社会の構成員の一人であるという意識を高め、学校生活や地域社会に向けて積極的に働きかけることができる。

2 計画

- ・「城南 CITY」の公共機関を行おう(準備・運営)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12時間
- ・「城南 CITY」の町のために働いたことから仕事について考えよう・・・・・・・・・・ 2時間
- ・自分の将来について考えよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6時間
- ・自分のなりたい仕事について調べよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6時間
- ・ドリームマップを作り上げよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6時間
- ・ドリームマップの発表会をしよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4時間
- ・学習を振り返り、まとめの感想を書こう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
- ・卒業式に述べる一言を考えよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

3 実践の概要

(1) 「城南 CITY」の町のために働いたことから仕事について考えよう

6年生は「城南 CITY」で公共機関として、銀行、ハローワーク、放送局を出店する。3組は銀行を担当し、「城南 CITY」がきちんと機能するようにどのような銀行を開くか学級で話し合い、店を準備して運営した。笑顔で応対する、銀行員としてマナーを守る、ジョナー（校内通貨）の管理を徹底するなど、店の約束を決め、カーニバル当日は、どの子どもとも一生懸命に働いた。銀行は、全校児童が必ず来る店なので、「時間によってはとてもたいへんだった。」「お金をまちがったりしては絶対だめだから、渡すときには初めとても緊張した。」など、銀行員として働いたからこそ分かる思いを実感することができた。さらに、カーニバル後、働いた感想を出し合い、交流会を行った。A子も「銀行員として責任をもってやれたから、とても満足しています。」と、働く上では仕事への責任感ややりがいが大切だと気付くことができた。



【城南銀行の様子】

(2) 自分のなりたい仕事について調べよう

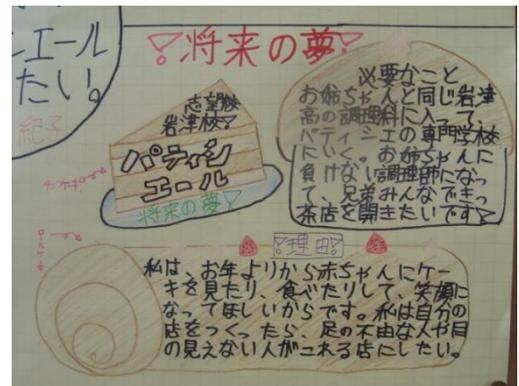
子どもたちがカーニバルで感じた働くことへの思いを大切に、自分の将来につきたい仕事調べを行った。夢ではなく、将来、仕事として働くということを考え、12歳の今、自分はどんな職業につきたいか、様々な職業調べを行ったのである。『13歳のハローワーク』やインターネットで調べられる子ども板職業紹介サイトを活用して、自分の性格や行動、これまで自分が思い描いていた夢などを考慮して、自分が興味をもった仕事についてその職業内容やどのようにしたらなれるのか、一人ひとりで調べていった。

A子は料理をしたり、お菓子を作ったりすることが大好きだった。また、お姉さんが今、調理師免許の取得を目指して努力している姿を家庭で感じて、自分も将来はパティシエになりたいと考えた。調べていく時には、お姉さんに取材も行き、パティシエになるための道筋を自分なりにまとめた。

(3) ドリームマップを作り上げよう

これまでに調べ、まとめてきた「自分の性格・よざ」「尊敬する人物」「城南カーニバルで学んだこと」「将来の夢」を、最後にドリームマップとして方眼画用紙にまとめた。子どもたちの中には将来の仕事に関してたいへん悩んでいる子どもも多かったが、なるべく具体的な仕事を決めて、まとめるようにした。自分自身のことなので、どの子どもも自分の将来の可能性をよく考えて、楽しみながらドリームマップを作ることができた。

【A子のドリームマップの一部】



A子は「笑顔いっぱいのパティシエールになりたい」と書いている。その理由には「お年よりや赤ちゃんも、(自分が作った)ケーキを見たり、食べたりして笑顔になってほしいから」とまとめている。小学生なのでまだまだ夢としての思いも大きいですが、自分の大好きなお菓子作りから自分なりの将来の方向性を考えることができた。

4 実践を振り返って

今回の実践では、子どもたちの多くが仕事には様々な職種や分野があることを知ってたいへん驚いていた。親の仕事が見えにくくなっている現在、子どもたちが職業調べや自分なりに将来の仕事を考えることはたいへん意味がある。子どもたちも、予想以上に楽しく追究をしている姿があった。しかし、追究段階でもっと働いている人の思いや労働のたいへんさを実感的に分かる・感じる部分を組み込むことで、子どもたちの切実なる思いを引き出していく工夫が必要であったと反省している。